

松茸 for S60 操作説明書

著者： (株) 管理工学研究所
版数： 3.00
状態： Released
文書番号： PJS-0002

目 次

1. はじめに	5
1.1. 松茸を使うには	5
1.2. 機能メニュー	5
1.2.1. 機能メニューの表示	5
1.2.2. 機能メニューの内容	6
1.3. Bluetooth™キーボードの利用	7
2. 入力方法の切り替え	8
2.1. 入力方式を切り替える	8
3. 文字入力	10
3.1. 入力文字の見方	10
3.2. 入力モードの切り替え	11
3.2.1. 入力モード.....	11
3.2.2. 入力モードを変更する	12
3.3. 大文字優先／小文字優先の切り替え	14
3.4. ローマ字入力での文字入力(QWERTYキーボード)	15
3.4.1. 漢字の入力.....	15
3.4.2. 英数字の入力	16
3.4.3. スペースの入力.....	16
3.4.4. 改行する	16
3.4.5. 文字の消去.....	16
3.4.6. 読みを修正する.....	16
3.5. 5タッチ入力モードでの文字入力	17
3.5.1. 漢字の入力.....	17
3.5.2. 同じキー内の文字を続けて入力	18
3.5.3. 小さい文字／濁音／半濁音を入力	18
3.5.4. 1つ前の文字に戻す	18
3.5.5. 英数字の入力	19
3.5.6. スペースの入力.....	19
3.5.7. 改行する	20
3.5.8. 文字の消去.....	20
3.5.9. 読みを修正する.....	20
3.6. 2タッチ入力モードでの文字入力	21

3.6.1.	漢字の入力.....	21
3.6.2.	小さい文字／濁音／半濁音を入力.....	22
3.6.3.	英数字の入力.....	22
3.6.4.	スペースの入力.....	22
3.6.5.	改行する.....	23
3.6.6.	文字の消去.....	23
3.6.7.	読みを修正する.....	23
3.7.	特殊記号／文字の入力.....	24
3.8.	その他の機能.....	25
3.8.1.	文節の切り直し.....	25
3.8.2.	単漢字変換.....	25
3.8.3.	複合語変換.....	25
4.	辞書管理.....	26
4.1.	単語を登録する.....	26
4.2.	単語を削除する.....	27
5.	環境設定.....	28
5.1.	環境設定の起動.....	28
5.2.	環境設定の構成.....	29
5.3.	環境設定の終了.....	29
5.4.	松茸の設定.....	30
5.4.1.	[基本]タブの設定.....	30
5.4.2.	[ローマ字]タブの設定.....	31
5.4.3.	[変換]タブの設定.....	32
6.	制限事項.....	34
7.	付録.....	35
7.1.	ローマ字対応表.....	35
7.2.	5タッチモード入力文字一覧.....	38
7.3.	2タッチモード入力文字一覧.....	41
7.3.1.	全角大文字.....	41
7.3.2.	全角小文字.....	41
7.3.3.	半角大文字.....	42
7.3.4.	半角小文字.....	42
7.4.	記号／文字一覧.....	43

7.5. QWERTYキーボードの特殊キー	43
7.6. 用語・略語	44

1. はじめに

本ドキュメントは、『日本語かな漢字変換システム松茸 for S60』（以下、「松茸」と表記します）の使用方法について説明したものです。

1.1. 松茸を使うには

NOKIA 端末用日本語表示プラグイン「+J for S60」のパッケージをインストールし、「+J for S60 環境設定」で有効な FEP を松茸に切り替えてください。テキスト入力の際、松茸が使用できるようになります。

「+J for S60」の詳細につきましては、別途同梱のマニュアルを参照してください。

1.2. 機能メニュー

1.2.1. 機能メニューの表示

機能メニューを表示する場合は、以下のキー操作を行います。

入力方式	キー入力デバイス	操作
ローマ字入力	Bluetooth™ キーボード、または QWERTY キーボード搭載の携帯端末（以下、「QWERTY キーボード」と表記します）	[Ctrl] + [M] キーを押下
5 タッチ入力 2 タッチ入力	QWERTY キーボード	[Ctrl] + [M] キーを押下 [Shift] キーを押下
	携帯端末の数字キーパッド	[編集] キーを押下 [#] キーを長押し

1.2.2. 機能メニューの内容

機能メニューに表示される項目は以下のとおりです。



番号	名称	説明
①	改行入力	改行を入力します。入力方式が 5 タッチ入力または 2 タッチ入力の時に表示されます。
②	スペース入力	スペースを入力します。入力方式が 5 タッチ入力または 2 タッチ入力の時に表示されます。
③	入力モード	入力モードを変更します。入力モードについては、「3.2.入力モードの切り替え」(p.11)を参照してください。
④	入力方式	入力の方式を変更します。入力方式については、「2.入力方法の切り替え」(p.8)を参照してください。
⑤	記号入力	記号を入力します。記号入力については、「3.7. 特殊記号／文字の入力」(p.24)を参照してください。
⑥	設定	環境設定や辞書の追加削除を行います。環境設定については、「5.環境設定」(p.28)を参照してください。辞書については、「4.辞書管理」(p.26)を参照してください。
⑦	About	松茸のバージョン情報を表示します。
⑧	ヘルプ	松茸のヘルプを表示します。

1.3. Bluetooth™ キーボードの利用

HID プロファイル対応の Bluetooth™ キーボードで松茸を利用することができます。Bluetooth™ キーボードと携帯端末の接続方法につきましては、それぞれのマニュアルを参照してください。

接続／切断の手順は以下のようになります。

◆ キーボードの接続

- Bluetooth™ キーボードの電源を入れます。
- 「Wireless keyboard」アプリを起動し、メニューから Find keyboard を選択します。
- 一覧メニューから該当するキーボードを選択します。
- Keyboard layout は US English を選択します。

◆ キーボードの切断

- 「Wireless keyboard」アプリを起動し、メニューから Disconnect keyboard を選択します。

お知らせ

- 「Wireless keyboard」アプリがプリインストールされていない端末でも、ノキアのサポートサイトから入手できる場合があります。

2. 入力方法の切り替え

この章では、文字を入力するときに使用するキーボードを切り替える方法を説明します。

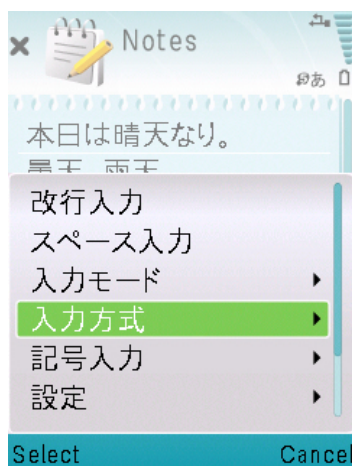
文字の入力方法には、つぎの3つの方法があります。

説明
ローマ字入力(キーボードからの入力) 携帯端末とキーボードを Bluetooth™ 接続するか、QWERTY キーボード搭載の携帯端末のキーボードから文字を入力する場合に使用します。入力モードがひらがな／カタカナの場合はローマ字入力となります。
5 タッチ入力からの文字入力 携帯端末の数字キーパッドを利用して、マルチタップ方式で文字を入力します。1つのキーに複数の文字が割り当てられており、キーを押す回数によって文字を切り替えます。
2 タッチ入力からの文字入力 携帯端末の数字キーパッドを利用して、2 タッチ方式で文字を入力します。2 つキーの組み合わせに文字が割り当てられています。

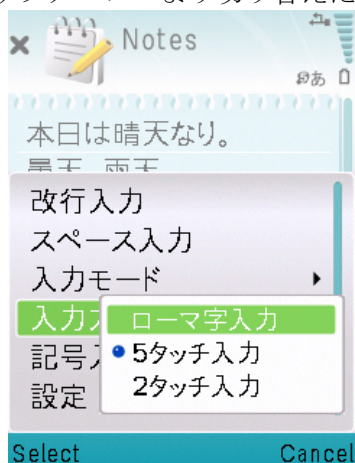
2.1. 入力方式を切り替える

入力方式を切り替える方法について説明します。どの入力方式でも機能メニューより入力方式を切り替えることができます。

- 1) 機能メニューより「入力方式」を選択します。



- 2) サブメニューより切り替えたい入力方式を選択します。



お知らせ

- 機能メニューー環境設定の「入力モード」からも変更できます。→P.30

3. 文字入力

この章では、文字を入力する方法を説明します。

3.1. 入力文字の見方

入力した読みや変換中の文字は未確定文字といい、松茸の機能で自由に変換することができます。[Enter] キーを押して変換を終えることを確定するとい、以後、松茸の変換の対象からはずれます。

※ 5タッチ入力、2タッチ入力を利用した携帯端末の数字キーパッドから入力する場合は、[Enter] キーを押す代わりに [ナビゲーション 決定(Selection)] キーを押します。

表示	説明
	未確定文字（読み）
	未確定文字（変換中）
	確定文字

3.2. 入力モードの切り替え

文字入力モードを切り替えます。

3.2.1. 入力モード

以下の入力モードがあります。

QWERTY キーボード での文字入力		携帯端末の数字キーパッドでの文字入力			
ローマ字入力		5 タッチ入力		2 タッチ入力	
アイコン	入力モード	アイコン	入力モード	アイコン	入力モード
	ひらがな		ひらがな		全角大文字
	全角カタカナ		全角カタカナ		全角小文字
	半角カタカナ		半角カタカナ		半角大文字
	全角英数字		全角英字		半角小文字
	半角英数字		半角英字		
			全角数字		
	半角数字		半角数字		半角数字
	無変換		無変換		無変換

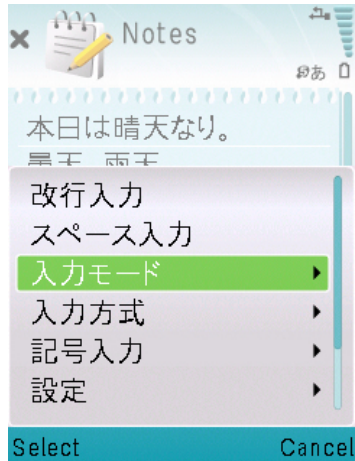
お知らせ

- 入力場面により入力できるモードは異なります。
- ローマ字入力モード、2 タッチモードの半角数字モードは、数字入力のみ行えるエディタの場合、自動で選択されます。手動で半角数字モードにすることは出来ません。
- 2 タッチモードの半角数字モードは5 タッチモードの半角数字モードと同じ動作となります。
- 無変換モードはライセンスの試用期限が切れた場合にのみ適用されます。どの入力モードを選択しても同じアイコンとなり、押したキーはそのまま入力されます。

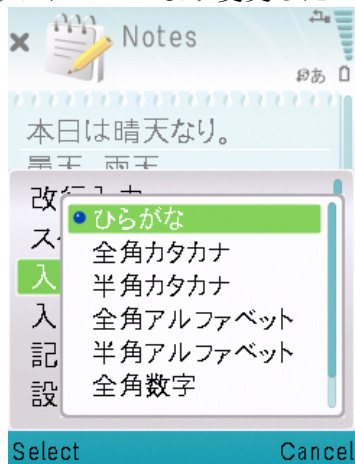
3.2.2. 入力モードを変更する

どの入力方式においても機能メニューより、入力モードを変更することが出来ます。

- 1) 機能メニューより「入力モード」を選択します。



- 2) サブメニューより変更したい入力モードを選択します。



また次の方法でも切り替えることができます。

入力方式	キー入力デバイス	入力モード	操作
ローマ字入力	QWERTY キーボード	ひらがな	[Ctrl] + [J] キー押下 [Chr] + [J] キー押下
		全角カタカナ	[Ctrl] + [K] キー押下 [Chr] + [K] キー押下
		半角カタカナ	[Ctrl] + [O] キー押下 [Chr] + [O] キー押下
		全角英数字	[Ctrl] + [U] キー押下 [Chr] + [U] キー押下 [Chr] + [;] キー押下
	端末の数字キーパッド		機能メニューから切り替え
5 タッチ入力	QWERTY キーボード		QWERTY キーボードと同じ
	端末の数字キーパッド		[#] キー押下 順番に切り替わる
2 タッチ入力	QWERTY キーボード		QWERTY キーボードと同じ
	端末の数字キーパッド		[#] キー押下 順番に切り替わる

お知らせ

- Bluetooth™ キーボードに[全角/半角]キーが存在する場合、そのキーを押すことによりひらがなと半角英数字を切り替えることができます。
- 半角数字はエディタに数字のみの制限がかかっている場合に表示されます。キーボードからの設定は行えません。

3.3. 大文字優先／小文字優先の切り替え

大文字または小文字の英字を簡単に連続で入力することができます。

- ◆ ローマ字入力での文字入力（QWERTY キーボード）の場合
 - [Caps Lock] キーが存在する場合、そのキーを押します。

- ◆ 2タッチ入力での文字入力の場合
 - [#] キーを押し、小文字を入力する場合は全角小文字モード、半角小文字モードにします。また大文字を入力する場合は全角大文字モード、半角大文字モードにします。

お知らせ

- ローマ字入力での文字入力（QWERTY キーボード）において、[Shift] キーを押しながら文字を入力することにより大文字または小文字に切り替えることができます。
- 5タッチ入力での文字入力において、文字を入力した後に携帯端末の[*] キーを押すことにより直前の未確定の一字を大文字または小文字に切り替えることができます。

3.4. ローマ字入力での文字入力（QWERTY キーボード）

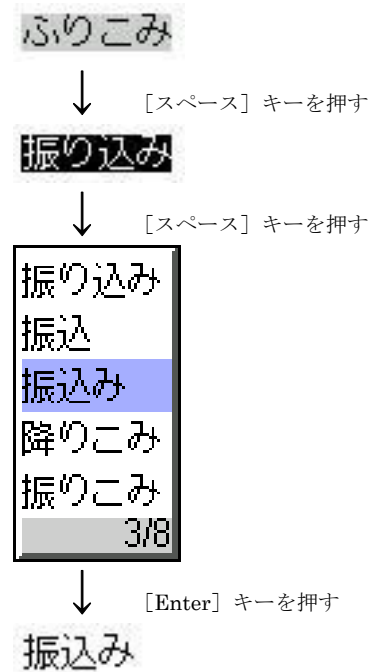
この節では、ローマ字入力モードで QWERTY キーボードから文字を入力する方法を説明します。

3.4.1. 漢字の入力

ローマ字入力方式で読みを入力します。読みを入力したら、[スペース] キーを押して漢字混じり文に変換します。変換した漢字が適切でない場合には、目的の漢字候補になるまで [スペース] キーを何回か押します。

「振込」と入力する場合

- 1) [F] [U] [R] [I] [K] [O] [M]
[I] とキーを押す。
- 2) 目的の文字が選択されるまで [スペース] キーを押す。
- 3) 目的の文字を選び、[Enter] キーを押す。



お知らせ

- 漢字変換できるのは、ひらがなモードのときのみです。
- [スペース] キーを 2 回押すと、漢字候補の一覧が出てきます。
- 目的の漢字に変換されない場合は、漢字 1 文字ごとに単漢字変換を行います。→P.25

3.4.2. 英数字の入力

「BOOK」と入力する場合

- 1) [B] [O] [O] [K] とキーを押す。

3.4.3. スペースの入力

- 1) [スペース] キーを押す。

3.4.4. 改行する

- 1) [Enter] キーを押す。

お知らせ

- 電話帳などエディタによっては改行できません。

3.4.5. 文字の消去

- 1) [クリア] キーを押す。

お知らせ

- 変換中に [クリア] キーを押すと、変換前の状態に戻ります。

3.4.6. 読みを修正する

変換中の読み間違いに気づいたときには、変換前の状態に戻して読みを修正することができます。

- 1) [クリア] キーを押す。

お知らせ

- 未確定文字（読み）の状態ですべて [クリア] キーを押すと、読みが消えるので注意してください。

3.5. 5 タッチ入力モードでの文字入力

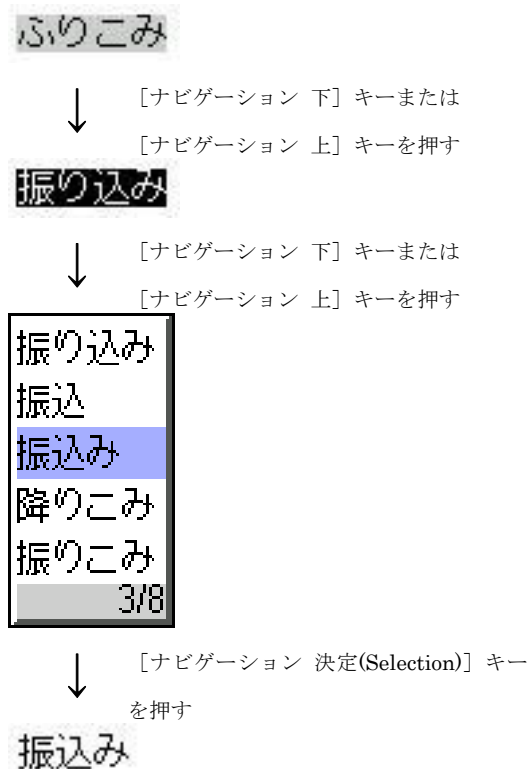
この節では、5 タッチ入力モードで携帯端末の数字キーパッドから文字を入力する方法を説明します。各キーの組み合わせによる文字の入力については付録の「5 タッチモード入力文字一覧」(P.38)をご参照ください。

3.5.1. 漢字の入力

マルチタップ方式で読みを入力します。読みを入力したら、[ナビゲーション 下] キーを押して漢字混じり文に変換します。変換した漢字が適切でない場合には、目的の漢字候補になるまで [ナビゲーション 下] キーまたは [ナビゲーション 上] キーを何回か押します。

「振込」と入力する場合

- 1) [6] キーを 3 回押して「ふ」を入力する。
- 2) [9] キーを 2 回押して「り」を入力する。
- 3) [2] キーを 5 回押して「こ」を入力する。
- 4) [7] キーを 2 回押して「み」を入力する。
- 5) 目的の文字が選択されるまで [ナビゲーション 下] キーまたは [ナビゲーション 上] キーを押す。
- 6) 目的の文字を選び、[ナビゲーション 決定(Selection)] キーを押す。



お知らせ

- 漢字変換できるのは、ひらがなモードのときのみです。
- 複数の文節に区切られた文章の変換を行った場合は、[ナビゲーション 決定(Selection)] キーを押したとき文章の途中までが確定されます。文章全体を確定する場合は、[ナビゲーション 右] キーを押して最後の文節に移動した後、[ナビゲーション 決定(Selection)] キーを押してください。
- [ナビゲーション 下] を 2 回押すと、漢字候補の一覧が出てきます。

3.5.2. 同じキー内の文字を続けて入力

- 1) 最初の文字を入力した後に [ナビゲーション 右] を押す。
- 2) つぎの文字を入力する。

3.5.3. 小さい文字／濁音／半濁音を入力

「っ」を入力する場合

- 1) [4] キーを 3 回押して「っ」を入力する。
- 2) [*] キーを 1 回押す。
 - [*] キーをもう 1 回押すと「づ」が入力されます。

「ば」を入力する場合

- 3) [6] キーを 1 回押して「は」を入力する。
- 4) [*] キーを 1 回押す。

「ぱ」を入力する場合

- 5) [は] を 1 回タップして「は」を入力する。
- 6) [*] キーを 2 回押す。

3.5.4. 1 つ前の文字に戻す

マルチタップ入力方式で逆順に文字を表示します。キーをタップしすぎて目的の文字を通り過ぎてしまったときに、文字を逆順にまわすことによって目的の文字をすばやく入力することができます。

- 1) [#] キーを押す。

お知らせ

- 直前の文字が濁音、半濁音の場合は、文字に戻すことはできません。

3.5.5. 英数字の入力

「Book123」と入力する場合

- 1) [2] キーを5回押して「B」を入力する。
- 2) [6] キーを3回押して「o」を入力する。
- 3) [ナビゲーション 右] キーを押す。
- 4) [6] キーを3回押して「o」を入力する。
- 5) [5] キーを2回押して「k」を入力する。
- 6) [0] キーを2回押して「0」を入力する。
- 7) [1] キーを1回、[#]キーを1回押して「1」を入力する。
- 8) [2] キーを1回、[#]キーを1回押して「2」を入力する。

お知らせ

● 定型文の入力

- 英字を入力するモードの場合、[http://]には定型文と数字が割り当てられています。

押す回数	定型文
1	.ne.jp
2	.co.jp
3	.ac.jp
4	.com
5	http://
6	https://
7	www
8	.html
9	1

3.5.6. スペースの入力

- 1) [編集] キーを押し機能メニューを表示する。
- 2) 機能メニューの [スペース入力] を選択し、[ナビゲーション 決定(Selection)] キーを押します。

また全角英字、半角英字のときは、以下の方法でも入力できます。

- 3) [0] キーを押す。

3.5.7. 改行する

- 1) [編集] キーを押し機能メニューを表示する。
- 2) 機能メニューの [改行入力] を選択し、[ナビゲーション 決定(Selection)] キーを押します。

お知らせ

- 電話帳などエディタによっては改行できません。

3.5.8. 文字の消去

- 1) [クリア] キーを押す。

お知らせ

- 変換中に [クリア] キーを押すと、変換前の状態に戻ります。

3.5.9. 読みを修正する

変換中の読み間違いに気づいたときには、変換前の状態に戻して読みを修正することができます。

- 1) [クリア] キーを押す。

お知らせ

- 未確定文字（読み）の状態では [クリア] キーを押すと、読みが消えるので注意してください。

3.6. 2タッチ入力モードでの文字入力

この節では、2タッチ入力モードで携帯端末の数字キーパッドから文字を入力する方法を説明します。各キーの組み合わせによる文字の入力については付録の「2タッチモード入力文字一覧」(P.41)をご参照ください。

3.6.1. 漢字の入力

2タッチ方式で読みを入力します。読みを入力したら、[ナビゲーション 下] キーを押して漢字混じり文に変換します。変換した漢字が適切でない場合には、目的の漢字候補になるまで [ナビゲーション 下] キーまたは [ナビゲーション 上] キーを何回か押します。

「振込」と入力する場合

- 1) [6] キー、[3] キーの順に押して「ふ」を入力する。
- 2) [9] キー、[2] キーの順に押して「り」を入力する。
- 3) [2] キー、[5] キーの順に押して「こ」を入力する。
- 4) [7] キー、[2] キーの順に押して「み」を入力する。
- 5) 目的の文字が選択されるまで [ナビゲーション 下] キー または [ナビゲーション 上] キー を押す。
- 6) 目的の文字を選び、 [ナビゲーション 決定(Selection)] キーを押す。

ふりこみ



[ナビゲーション 下] キーまたは
[ナビゲーション 上] キーを押す

振り込み



[ナビゲーション 下] キーまたは
[ナビゲーション 上] キーを押す



[ナビゲーション 決定(Selection)] キー
を押す

振込み

お知らせ

- 漢字変換できるのは、ひらがなモードのときのみです。
- 複数の文節に区切られた文章の変換を行った場合は、[ナビゲーション 決定(Selection)] キーを押したとき文章の途中までが確定されます。文章全体を確定する場合は、[ナビゲーション 右] キーを押して最後の文節に移動した後、[ナビゲーション 決定(Selection)] キーを押してください。
- [ナビゲーション 下] を2回押すと、漢字候補の一覧が出てきます。

3.6.2. 小さい文字／濁音／半濁音を入力

「っ」を入力する場合

- 1) [8] キー、[0] キーの順に押して全角小文字モードにする。
- 2) [4] キー、[3] キーの順に押すと「っ」が入力されます。
- 3) [8] キー、[0] キーの順に押すと全角大文字モードに戻ります。

「ば」を入力する場合

- 4) [6] キー、[1] キーの順に押して「は」を入力する。
- 5) [0] キー、[4] キーの順に押すと「ば」が入力されます。

「ぱ」を入力する場合

- 6) [6] キー、[1] キーの順に押して「は」を入力する。
- 7) [0] キー、[5] キーの順に押すと「ぱ」が入力されます。

3.6.3. 英数字の入力

半角文字を入力する時は [#] キーを押して半角大文字または半角小文字モードにします。

小文字を入力する場合は、全角小文字または半角小文字モードにしてください。

「BOOK」と入力する場合

- 1) [1] キー、[7] キーの順に押して「B」を入力する。
- 2) [3] キー、[0] キーの順に押して「O」を入力する。
- 3) [3] キー、[0] キーの順に押して「O」を入力する。
- 4) [3] キー、[6] キーの順に押して「K」を入力する。

3.6.4. スペースの入力

- 1) [編集] キーを押し機能メニューを表示する。
- 2) 機能メニューの [スペース入力] を選択し、[ナビゲーション 決定(Selection)] キーを押します。

また全角大文字、半角大文字のときは、以下の方法でも入力できます。

- 3) [8] キー、[8] キーの順に押す。

3.6.5. 改行する

- 1) [編集] キーを押し機能メニューを表示する。
- 2) 機能メニューの [改行入力] を選択し、[ナビゲーション 決定(Selection)] キーを押します。

お知らせ

- 電話帳などエディタによっては改行できません。

3.6.6. 文字の消去

- 1) [クリア] キーを押す。

お知らせ

- 変換中に [クリア] キーを押すと、変換前の状態に戻ります。

3.6.7. 読みを修正する

変換中の読み間違いに気づいたときには、変換前の状態に戻して読みを修正することができます。

- 1) [クリア] キーを押す。

お知らせ

- 未確定文字（読み）の状態では [クリア] キーを押すと、読みが消えるので注意してください。

3.8. その他の機能

3.8.1. 文節の切り直し

ふたつ以上の文節からなっている読みは、文節ごとに分割して変換されます。もし、注目文節の切れ目が不適切な場合には、つぎのキーで文節を切り直してください。

切り直し	QWERTY キーボードでの文字入力に切り替える場合	端末の数字キーパッドでの文字入力に切り替える場合
文節を短くする	[Shift] + [←] キーを押す	[編集※] + [ナビゲーション 左] を押す [編集] がない端末の場合は、 [#] + [ナビゲーション 左] を押す
文節を長くする	[Shift] + [→] キーを押す	[編集] + [ナビゲーション 右] を押す [編集] がない端末の場合は、 [#] + [ナビゲーション 右] を押す

※ [編集] キーは [Edit] キーのことです。

3.8.2. 単漢字変換

単語単位で漢字変換を行ったときに、漢字候補の一覧に目的の漢字が表示されないことがあります。変換できない単語は、1つの漢字ごとに変換する単漢字変換を行います。

◆ **QWERTY キーボードでの文字入力の場合**

- [Shift] + [↓] キーを押します。
- 単漢字候補の一覧より目的の漢字を選びます。

◆ **数字キーパッドでの文字入力の場合**

- [編集] + [↓] キーを押す。[編集] がない端末の場合は、[#] + [↓] キーを押します。
- 単漢字候補の一覧より目的の漢字を選びます。

3.8.3. 複合語変換

人名や住所など名詞で構成されている語は、複合語変換を使うと、変換の効率が上がります。ただし、文字をすべて名詞として扱うため、文節で区切られる文章の変換には向きません。

お知らせ

- 環境設定の「変換方法」から設定できます。→P.32

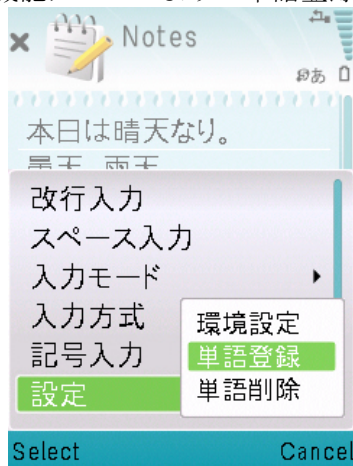
4. 辞書管理

辞書管理は、辞書ファイルのメンテナンスを行なうユーティリティです。単語の登録／削除が行なえます。

4.1. 単語を登録する

辞書ファイルに登録されていない単語は、すぐに変換できない場合があります。このような単語は辞書ファイルに登録しておくこと、つぎにその単語を入力するときに変換操作が楽になります。単語は、つぎのように登録します。

- 1) 機能メニューより「単語登録」を選択します。



- 2) 単語登録画面より以下の内容を入力します。



項目	説明
漢字表記	登録する単語。
読み	単語の読み。 読みはひらがな、記号、英字、数字が入力できますが、カタカナは入力できません。
品詞	「一般品詞」／「人名」／「地名」／「固有名詞（事物、その他）」／「さ変動詞語幹」／「単漢字」より選びます。

- 3) ソフトキーの「保存」を押します。
 - 単語登録を終了するときはソフトキーの「戻る」を押します。

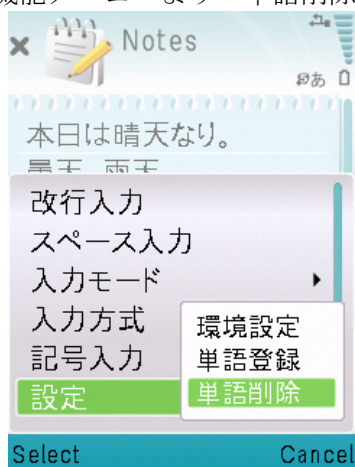
お知らせ

- 既に登録されている単語を重複して登録することはできません。

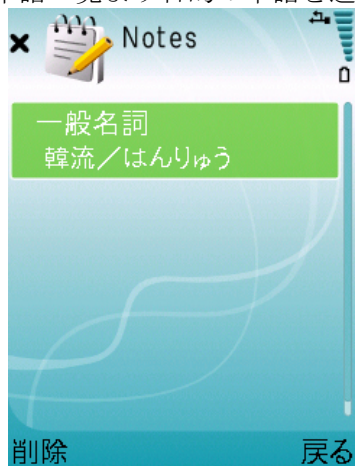
4.2. 単語を削除する

必要のない単語は削除できます。単語は、つぎのように削除します。

- 機能メニューより「単語削除」を選択します。



- 単語一覧より目的の単語を選びます。



- ソフトキーの「削除」を押します。

- 単語削除を終了するときはソフトキーの「戻る」を押します。

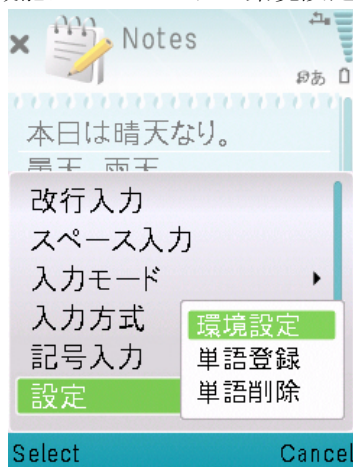
5. 環境設定

松茸の操作方法を自分にあった使いやすい状態にしたい場合には、松茸の設定を変更します。この章では、松茸の環境設定について説明します。

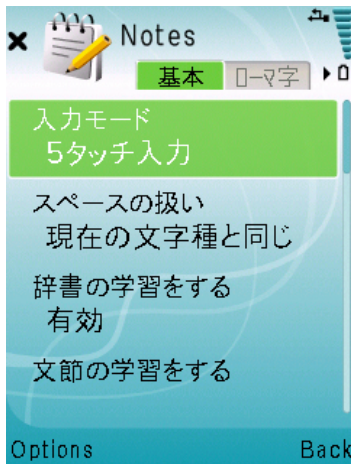
5.1. 環境設定の起動

環境設定画面は、次のようにして表示します。

- 1) 機能メニューより「環境設定」を選択します。



5.2. 環境設定の構成



環境設定画面は、つぎのタブで構成されます。

タブ	説明
基本	標準の入力モード、変換の学習などの共通の設定
ローマ字	ローマ字入力に関する設定
変換	漢字変換に関する設定

それぞれの操作については、以下に説明します。

5.3. 環境設定の終了

環境設定の保存

松茸の設定を変更した場合には、環境設定画面のソフトキーの [Options] を押し [Save] を選択します。その後ソフトキーの [Back] を押して環境設定画面を閉じます。

環境設定の中止

松茸の設定を取り止めるときには、ソフトキーの [Back] を選択します。変更した内容があるときは「Save changes?」と表示されます。内容を破棄する場合はソフトキーの [No] を選択してください。その後登録されずに、環境設定画面を閉じます。

5.4. 松茸の設定

5.4.1. [基本] タブの設定

入力モード

松茸を起動したときの標準の入力モードを選択します。「ローマ字入力」、「5タッチ入力」、「2タッチ入力」が選択できます。

スペースの扱い

[スペース] キーを押したときに入力される空白文字を選択します。

項目	説明
半角	常に半角スペースを入力します。
全角	常に全角スペースを入力します。
現在の文字種と同じ	現在の入力モードに応じて全角／半角の空白文字を入力できます。 [0] キーを押したときに入力される空白文字は、常に現在の文字種と同じです。

辞書の学習をする

この設定を有効にすると、確定した候補が辞書に記録され、次回の変換の際に優先的に候補になります。頻出する単語の変換効率が高くなります。

文節の学習をする

この設定を有効にすると、文節の切りかたが辞書ファイルに登録されます。

5.4.2. [ローマ字] タブの設定

句点

[.] キーを押したとき、ピリオド (.) を入力するか、句点 (。) を入力するかを選択します。

読点

[,] キーを押したとき、コンマ (,) を入力するか、読点 (、) を入力するかを選択します。

“NN” を “ん N” に変換

この設定を有効にすると、[N] キーを 2 回連続して押したときに「ん N」となります。「ん」としたいときには無効にします。

“[]” を “「」” に変換

[] キーや [「] キーを押したとき、角かっこ ([]) を入力するか、かぎかっこ (「 」) を入力するかを選択します。

“/” を “.” に変換

[/] キーを押したとき、スラッシュ (/) を入力するか、中点 (.) を入力するかを選択します。

英数字の後の “、。” を “、.” に変換

この設定を有効にすると、数字の後の読点 (、) や句点 (。) をそれぞれ位取りのコンマ (、) と小数点 (.) に変換します。

英数字の後の “ー” → “—” に変換

この設定を有効にすると、英数字の後の長音 (ー) をマイナス (—) に変換します。

5.4.3. [変換] タブの設定

変換方法

漢字変換の方法を選択します。松茸を使用するアプリケーションに応じて設定してください。

項目	説明
文節変換	「てにをは」を含む一般的な文章に変換します。 文章の入力に向いています。
複合語変換	熟語の集まりとして変換します。 人名や住所など名詞のみの入力に向いています。

変換モード

辞書ファイルを読むタイミングを選択します。

項目	説明
先読み	読みを入力した時点で辞書を読みに行きます。
逐次	ある程度読みを入力をした時点で読みの一部を漢字かな混じり文に変換します。
後読み	変換（[スペース]）キーを押してから辞書を読みに行きます。

変換の優先

漢字に変換する際の候補の優先順位を選択します。

項目	説明
なし	人名と地名を候補として優先しません。
人名優先変換	人名を優先して候補にします。
地名優先変換	地名を優先して候補にします。
人名・地名優先変換	人名と地名を優先して候補にします。

送り仮名

送り仮名の送りかたの設定です。設定に応じた候補だけが表示されます。

項目	説明
全部	すべての送りかたの候補が表示されます。
本則	内閣告示の「送り仮名の付け方」にもとづいた送りかたの候補だけが表示されます。 【例】表す、終わる
送る	長い送り仮名の候補だけが表示されます。 【例】表わす、終わる
省略	短い送り仮名の候補だけが表示されます。 【例】表す、終る

カーソルキーまで変換

この設定を有効にすると、カーソルより前の文字までが変換されます。[Enter] キーを押すと、変換した文字までが確定されます。

無効にすると、カーソル位置に関係なくすべての文字が変換され、[Enter] キーを押すと、すべての文字が確定されます。

切り直し毎に変換

変換中の文字列の切り直しは [Shift] + [←] あるいは [→] キーで行ないます。この設定を有効にすると、文節を切り直すたびに変換を行ないます。

無効にすると、切り直しを行なうと入力状態に戻ります。変換するときは、もう一度変換キーを押します。

句読点入力と同時に変換

この設定を有効にすると、句点 (。) あるいは読点 (、) を入力すると同時に変換が行なわれます。

ただし、マルチタップ方式で入力される場合はこのチェックを無効にしてください。ひらがなモードのときに記号が入力されなくなります。

6. 制限事項

松茸における制限事項は以下のとおりです。

◆ FEP の変更

松茸を使用中のアプリケーションを終了していない状態で“標準 FEP”に変更すると当該アプリケーションが強制終了する場合があります。他のアプリケーションを終了してから FEP を切り替えてください。

◆ Notes アプリケーション

松茸が有効な場合、[Options]-[Writing language]メニューを選択しても何も動作しません。

◆ Settings - Writing language

松茸が有効な場合、[Writing language]設定によっては思うような入力ができないことがあります。

たとえば、Nokia E90 タイ語版で[Writing language]をタイ語にした場合、QWERTY キーボードによる入力のほとんどがタイ語優先になります。[Writing language]設定は "English" にしておいてください。

◆ 待ち受け画面

松茸が有効な場合に、待ち受け画面で文字入力しようとするとうんざりして端末が再起動する場合があります。（+J 対象外の E61 日本語版で現象を確認しました。）

◆ E61、E61i のキーパッド

E61、E61i のファームウェアのバージョンによっては、キーパッドの数字の箇所を入力したとき、数字しか入力できない場合があります。

7. 付録

7.1. ローマ字対応表

あ	い	う	え	お
A	I	U	E	O
		WU		
か	き	く	け	こ
KA	KI	KU	KE	KO
CA		CU		CO
		QU		
さ	し	す	せ	そ
SA	SI	SU	SE	SO
	SHI			
た	ち	つ	て	と
TA	TI	TU	TE	TO
	CHI	TSU		
な	に	ぬ	ね	の
NA	NI	NU	NE	NO
は	ひ	ふ	へ	ほ
HA	HI	HU	HE	HO
		FU		
ま	み	む	め	も
MA	MI	MU	ME	MO
や		ゆ		よ
YA		YU		YO
ら	り	る	れ	ろ
RA	RI	RU	RE	RO
わ	ゐ	う	ゑ	を
WA	WI	WU	WE	WO
ん				
NN				

濁音・半濁音

			ヴ	
			VU	
が	ぎ	ぐ	げ	ご
GA	GI	GU	GE	GO
ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
ZA	ZI	ZU	ZE	ZO
	JI			
だ	ぢ	づ	で	ど
DA	DI	DU	DE	DO
ば	び	ぶ	べ	ぼ
BA	BI	BU	BE	BO
ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
PA	PI	PU	PE	PO

拗音				
			いえ	
			YE	
うあ	うい	うえ	うお	
WHA	WHI	WHE	WHO	
きや	きい	きゆ	きえ	きよ
KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
くあ	くい	くう	くえ	くお
QA	QI	QWU	QE	QO
	QWI		QWE	QWO
くわ				
KWA				
QWA				
しゃ	しい	しゆ	しえ	しよ
SHA		SHU	SHE	SHO
SYA	SYI	SYU	SYE	SYO
ちや	ちい	ちゆ	ちえ	ちよ
CHA	CYI	CHU	CHE	CHO
CYA	TYI	CYU	CYE	CYO
TYA		TYU	TYE	TYO
つあ	つい		つえ	つお
TSA	TSI		TSE	TSO
てや	てい	てゆ	てえ	てよ
THA	THI	THU	THE	THO
にや	にい	にゆ	にえ	によ
NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ふあ	ふい		ふえ	ふお
FA	FI		FE	FO
ひや	ひい	ひゆ	ひえ	ひよ
HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
みや	みい	みゆ	みえ	みよ
MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
りや	りい	りゆ	りえ	りよ
RYA	RYI	RYU	RYE	RYO

濁音+拗音				
ヴァ	ヴィ		ヴェ	ヴォ
VA	VI		VE	VO
ギヤ	ギイ	ギユ	ギエ	ギョ
GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
グア	グイ	グウ	グエ	グオ
GWA	GWI	GWU	GWE	GWO
ジャ	ジイ	ジユ	ジエ	ジョ
ZYA	ZYI	ZYU	ZYE	ZYO
JYA	JYI	JYU	JYE	JYO
JA		JU	JE	JO
チャ	チイ	チユ	チエ	チョ
DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
デヤ	デイ	デユ	デエ	デョ
DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
ビヤ	ビイ	ビユ	ビエ	ビョ
BYA	BYI	BYU	BYE	BYO

半濁音+拗音				
ピヤ	ピイ	ピユ	ピエ	ピョ
PYA	PYI	PYU	PYE	PYO
			PHI	

「っ」(ちいさい「つ」)を入力するには [Shift] キーを押しながら「つ」を入力します。

<u>tu</u>	[Shift] キーを押しながら [T] [U] とキーを押します。
<u>tsu</u>	[Shift] キーを押しながら [T] [S] [U] とキーを押します。

または最初に [X] キーを押します。(この場合は [Shift] キーは押しません。)

<u>xtu</u>	[X] [T] [U] とキーを押します。
<u>xtsu</u>	[X] [T] [S] [U] とキーを押します。

小さなひらがな

あ	い	う	え	お
LA	LI	LU	LE	LO
XA	XI	XU	XE	XO
a	i	u	e	o

っ

LTU

XTU

LTSU

XTSU

tu

や	ゆ	よ
LYA	LYU	LYO
XYA	XYU	XYO
ya	yu	yo

わ

LWA

XWA

wa

か	け
LKA	LKE
XKA	XKE
ka	ke

7.2. 5 タッチモード入力文字一覧

キーに割り当てられた文字

各キーへの文字の割り当ては以下のとおりです。

入力モード	キー	割り当てられた文字
ひらがな	1	あ→い→う→え→お→あ→い→う→え→お
	2	か→き→く→け→こ
	3	さ→し→す→せ→そ
	4	た→ち→つ→て→と→っ
	5	な→に→ぬ→ね→の
	6	は→ひ→ふ→へ→ほ
	7	ま→み→む→め→も
	8	や→ゆ→よ→や→ゆ→よ
	9	ら→り→る→れ→ろ
	0	わ→を→ん→ー→全角スペース
	*	未確定：(小文字)→(濁音)→(半濁音)→(清音) 確定済：、→。→?→!→・
全角カタカナ	1	ア→イ→ウ→エ→オ→ア→イ→ウ→エ→オ
	2	カ→キ→ク→ケ→コ
	3	サ→シ→ス→セ→ソ
	4	タ→チ→ツ→テ→ト→ッ
	5	ナ→ニ→ヌ→ネ→ノ
	6	ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ
	7	マ→ミ→ム→メ→モ
	8	ヤ→ユ→ヨ→ヤ→ユ→ヨ
	9	ラ→リ→ル→レ→ロ
	0	ワ→ヲ→ン→ー→全角スペース
	*	未確定：(小文字)→(濁音)→(半濁音)→(清音) 確定済：、→。→?→!→・
半角カタカナ	1	ア→イ→ウ→エ→オ→ア→イ→ウ→エ→オ
	2	カ→キ→ク→ケ→コ
	3	サ→シ→ス→セ→ソ
	4	タ→チ→ツ→テ→ト→ッ
	5	ナ→ニ→ヌ→ネ→ノ
	6	ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ
	7	マ→ミ→ム→メ→モ
	8	ヤ→ユ→ヨ→ヤ→ユ→ヨ
	9	ラ→リ→ル→レ→ロ
	0	ワ→ヲ→ン→ー→半角スペース
	*	未確定：(小文字)→(清音) 確定済：`→°→、→。→?→!→・

入力モード	キー	割り当てられた文字
全角英字	1	. ne. jp→. co. jp→. ac. jp→. com→ http://→https://→www→. html→1
	2	a→b→c→A→B→C→2
	3	d→e→f→D→E→F→3
	4	g→h→i→G→H→I→4
	5	j→k→l→J→K→L→5
	6	m→n→o→M→N→O→6
	7	p→q→r→s→P→Q→R→S→7
	8	t→u→v→T→U→V→8
	9	w→x→y→z→W→X→Y→Z→9
	0	全角スペース→0
	*	未確定：(小文字)→(大文字) 確定済：. →@→/→!→?→(→)→、→→→_→:→;→ ' →“→&
半角英字	1	. ne. jp→. co. jp→. ac. jp→. com→ http://→https://→www→. html→1
	2	a→b→c→A→B→C→2
	3	d→e→f→D→E→F→3
	4	g→h→i→G→H→I→4
	5	j→k→l→J→K→L→5
	6	m→n→o→M→N→O→6
	7	p→q→r→s→P→Q→R→S→7
	8	t→u→v→T→U→V→8
	9	w→x→y→z→W→X→Y→Z→9
	0	半角スペース→0
	*	未確定：(小文字)→(大文字) 確定済：. →@→/→!→?→(→)→、→→→_→:→;→'→”→&

入力モード	キー	割り当てられた文字
全角数字	1	1
	2	2
	3	3
	4	4
	5	5
	6	6
	7	7
	8	8
	9	9
	0	0
	*	? → ! → · → * → # → (→) → 、 → - → _ → : → ' → ~ → & → ¥
半角数字	1	1
	2	2
	3	3
	4	4
	5	5
	6	6
	7	7
	8	8
	9	9
	0	0
	*	* → # → + → p → w

7.3. 2 タッチモード入力文字一覧

キーに割り当てられた文字

各キーへの文字の割り当ては以下のとおりです。

7.3.1. 全角大文字

		二番目									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
一番目	1	あ	い	う	え	お	A	B	C	D	E
	2	か	き	く	け	こ	F	G	H	I	J
	3	さ	し	す	せ	そ	K	L	M	N	O
	4	た	ち	つ	て	と	P	Q	R	S	T
	5	な	に	ぬ	ね	の	U	V	W	X	Y
	6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z	?	!	-	/
	7	ま	み	む	め	も	・	&			
	8	や	(ゆ)	よ	*	#	SP		小文字
	9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
	0	わ	を	ん	ゝ	ゝ	6	7	8	9	0

SP : 全角スペース

小文字 : 小文字入力に切り替える

7.3.2. 全角小文字

		二番目									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
一番目	1	あ	い	う	え	お	a	b	c	d	e
	2						f	g	h	i	j
	3						k	l	m	n	o
	4			つ			p	q	r	s	t
	5						u	v	w	x	y
	6						z				
	7										
	8	や		ゆ		よ					大文字
	9										
	0										

大文字 : 大文字入力に切り替える

7.3.3. 半角大文字

		二番目									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
一番目	1	ア	イ	ウ	エ	オ	A	B	C	D	E
	2	カ	キ	ク	ケ	コ	F	G	H	I	J
	3	サ	シ	ス	セ	ソ	K	L	M	N	O
	4	タ	チ	ツ	テ	ト	P	Q	R	S	T
	5	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	U	V	W	X	Y
	6	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	Z	?	!	-	/
	7	マ	ミ	ム	メ	モ	・	&			
	8	ヤ	(ユ)	ヨ	*	#	SP		小文字
	9	ラ	リ	ル	レ	ロ	1	2	3	4	5
	0	ワ	ヲ	ン	ゝ	°	6	7	8	9	0

SP : 半角スペース

小文字 : 小文字入力に切り替える

7.3.4. 半角小文字

		二番目									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
一番目	1	ア	イ	ウ	エ	オ	a	b	c	d	e
	2						f	g	h	i	j
	3						k	l	m	n	o
	4			ツ			p	q	r	s	t
	5						u	v	w	x	y
	6						z				
	7										
	8	ヤ		ユ		ヨ					大文字
	9										
	0										

大文字 : 大文字入力に切り替える

7.6. 用語・略語

用語・略語	説明
携帯端末	本ドキュメントでは、お客様が「+J for S60」をインストールする NOKIA 製の携帯端末を意味します。
Bluetooth™	Bluetooth SIG, Inc., USA の商標。 携帯情報機器などで数m程度の機器間接続に使われる短距離無線通信技術の一つです。
FEP	<u>F</u> ront <u>E</u> nd <u>P</u> rocessor の略称。 データの前処理や入力補助を行なう装置やソフトウェア一般を指します。本ドキュメントでは、日本語を入力するために用いる、かな漢字変換ソフトウェアの総称として用いています。
QWERTY	19 世紀に考案された、英文タイプライターのキー配列の一つです。現在でもコンピュータのキーボードのキー配列として利用されています。
HID プロファイル	<u>H</u> uman <u>I</u> nterface <u>D</u> evice プロファイルの略称。 Bluetooth™ で規定されている、キーボードやマウスを無線接続するためのプロファイル。
ローマ字入力	キートップに印刷されたアルファベットに従い、ローマ字で日本語を入力する方法。
5 タッチ入力	数字キーパッドを用いた一般的な携帯電話のかな入力方式。
2 タッチ入力	数字キーパッドを用いた母音+1 回の計 2 回の入力で文字を入力する入力方式。

本ソフトウェアおよびマニュアルの著作権は株式会社管理工学研究所にあります。
本ソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で複写・複製することを禁じます。
本ソフトウェアおよびマニュアルの内容は予告なく変更することがあります。

.....
松茸 for S60

発行日 2008/01/23
発行元 株式会社 管理工学研究所